

令和 7年度

事務事業評価表 (令和 6年度 の実績評価)

記入年月日
令和 7 年 4 月 15 日

事務事業名		小学校施設維持管理事業				事業区分		担当		
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	020103000141	
総合計画の施策名		0201	学校教育の充実			単独/補助	単独	所属課	090101 学校教育課	
政策体系	政策名	02	生きがいを育む学びのまちづくり					課長名		
	施策名	01	学校教育の充実					グループ	企画・営繕グループ	
	手段名	03	③教育環境の整備					担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	10	02	01	02	00	小学校管理事業			
法令根拠	桜川市立学校設置条例、桜川市立学校管理規則、桜川市教育委員会事務局組織規則						単年度繰返し (平成17年度～)			
							☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>【事務事業の内容】 小学校施設維持管理のため、修繕、保守点検、メンテナンス業務報告のチェック、現地確認、設計見積、業者選定及び発注、借地の契約・支払い</p> <p>【事業費の内訳】 小学校施設維持管理のため、修繕費、保守点検業務委託費、メンテナンス業務委託費、設計見積費、工事請負費等、借地賃借料 ※学校用務員報酬等を含む</p>	<p>小学校施設維持管理のため、修繕、保守点検、メンテナンス業務報告のチェック、現地確認、設計見積、業者選定及び発注</p> <p>借地面積 (大国小は国有地) 羽黒小 2,036㎡、猿田小 7530.55㎡、坂戸小 322.61㎡、南飯田小 8,748㎡、樺穂小 6,879.86㎡、大国小 953.89㎡</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
小学校施設維持管理のため、借地賃借、修繕、保守点検、メンテナンス業務報告のチェック、現地確認、設計見積、業者選定及び工事発注	施設維持管理費	千円	104,925.00	171,732.00	167,762.00	150,000.00	150,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
市立小学校	市立小学校数	校	8.00	8.00	6.00	6.00	6.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
市立小学校の教育環境の改善、充実	教育環境の改善、充実された学校数	校	8.00	8.00	6.00	6.00	6.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費の内訳	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (計画)	08年度 (目標)	09年度 (目標)	期間限定総投入量
財源内訳	県支出金	千円	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0		
	使用料・手数料	千円	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0		
	一般財源	千円	104,925	171,732	167,762		
	事業費計 (A)	千円	104,925	171,732	167,762		
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	06年度事業費 実績 (千円)			07年度事業費 予算 (千円)		
	01 報酬	10,022		01 報酬	11,105	17 備品購入費
03 職員手当等	3,858		03 職員手当等	3,625		
08 旅費	385		05 災害補償費	11		
10 需用費	53,743		08 旅費	224		
11 役務費	3,052		10 需用費	40,283		
12 委託料	49,335		11 役務費	4,113		
13 使用料及び賃借料	6,212		12 委託料	73,671		
14 工事請負費	32,197		13 使用料及び賃借料	5,430		
15 原材料費	60		14 工事請負費	26,261		
17 備品購入費	12,868		15 原材料費	500		
		合計	171,732		合計	167,762

(4) 当該年度の実施内容

※年度ごとに事業内容を記入する	07年度の事業内容	08年度の事業内容	09年度の事業内容
	小学校施設維持管理に伴い、必要箇所の修繕、保守点検、メンテナンス業務報告のチェック、現地確認、設計見積、業者選定及び発注、借地の契約・支払い等を行う。	小学校施設維持管理に伴い、必要箇所の修繕、保守点検、メンテナンス業務報告のチェック、現地確認、設計見積、業者選定及び発注、借地の契約・支払い等を行う。	小学校施設維持管理に伴い、必要箇所の修繕、保守点検、メンテナンス業務報告のチェック、現地確認、設計見積、業者選定及び発注、借地の契約・支払い等を行う。

事務事業名	小学校施設維持管理事業	事務事業No.	20103000141	所属課	学校教育課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 小学校建設時から。現状としては、校舎等の老朽化が進み、修繕を必要とする箇所が多岐にわたり、増えている。 平成29年度で、真壁小・紫尾小が閉校し、桃山学園に統合された。 令和2年度で猿田小が閉校した。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 老朽化の対応及び学校数の見直し。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	小学校施設を維持管理していくことは、安心安全な教育環境づくりの基本施策であるため結び付く。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市立小中学校施設であるため、市が行うことは妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	施設維持管理に関することから、施設が存続する限り継続するものであり、現時点で向上余地がない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	施設環境が悪化する。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	特になし。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費については、統合により小学校数を減らすには難しい。人件費については、施設に対する知識と経験が必要とされるため、委託等は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市立小学校施設である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	学校施設の維持管理は、市の業務であるため、施設の老朽化により、業務量が増加している。 今後、適正配置等が進まなければ、対象物件が減少することはないため、人員の適切な配置が必要である。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	×																						
	低下		×	×																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 ④																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認